

「トウ・ザ・ライト・エンディング」

大久保 佑馬

あらすじ

演出家助手の喜田健治（25）は、舞台『トウ・ザ・ライ
ト・エンディング』千秋楽の舞台裏で想いをよせる主演女優の
矢内真依子（25）に手紙で思いを伝えようとするが、主演俳
優の花岡翔平（27）と付き合っていることを知り断念。そん
な時、恋敵役の石垣渉（29）が出演直前に体調不良で倒れて
しまう。舞台の脚本は頭に入っている喜田は、演出家の塚田の
咄嗟の判断で舞台上に蹴り出され、急遽代役として舞台に出演
することになる。喜田がうまく代役をこなせるはずもなく舞台
は本来のストーリーとは全く違うものへ変化していく。

そんな中、花岡の浮気相手である篠田奈々（27）が舞台を
見に来る。花岡の浮気の実事を知った喜田は真依子の事を諦め
きれなくなり、舞台の中で真依子を花岡から奪おうとする。普
段から誰にも予想できない舞台を作りたがっていた演出家の塚
田（52）も喜田の行動を面白いと思って応援することにし、
本来恋敵である喜田の役を主人公に、本来主人公である花岡の
役を悪役に仕立て上げる演出作戦がスタートする。

台本とは全く違う流れに真依子は戸惑うが、即興で演じてい
くうちに花岡が浮気をしていた事実や喜田の純粹な恋心に気付
き、舞台上で演技ではないリアルな反応を見せていく。一方で
悪役に仕立て上げられた花岡は焦って、真依子と喜田の仲を裂
こうと邪魔を繰り返すが、それを乗り越えていく度に真依子の
気持ちは喜田へと傾いていく。

登場人物

喜田健治 (25) A D・演出家志望

矢内真依子 (25) 主演女優 (青野司咲役)

花岡祥平 (27) 主演俳優 (細川和雄役)

塚田幸助 (52) 監督・演出家

榎島伸二郎 (38) 脚本家

篠田奈々 (27) 花岡の浮気相手

石垣渉 (29) 助演俳優 (三宅聡役)

隣の席の初老

刑事役俳優

町人役

子役

女性スタッフ 1

女性スタッフ 2

女性スタッフ 3

男性スタッフ

榎島「無事に終わったから、今日は行きましよう。」

○同・舞台裏（夜）
榎島「立って話す塚田と榎島。」
○同・真依子の楽屋前（夜）
音が出ないようにつくりと扉を閉める。喜田「スタッフが通り過ぎにびっくりする。」

○同・真依子の楽屋内（夜）
慌てるように紙袋を見つけて中を探る。喜田「自分の手紙を取り出しポケットに入れて。ゆっくりと扉を開けてそっと楽屋を出る。」

○同・舞台裏トイレ前（夜）
顔を出して廊下の様子を探る。真依子が楽屋から出ていくのが見える。ソワソワと真依子の楽屋に向かう。辺りを警戒しながら、こっそりと楽屋に入る。

○同・舞台裏トイレ前（夜）
喜田「手紙！」
喜田「ちよっとなんか待って。え、どう？」
喜田「鏡を見て、気付いたように顔蒼白。」

○同・舞台裏トイレ前（夜）
喜田「落ちない様子でウロウロする喜田。」
喜田「お願いします。」
喜田「これ、紙袋を差し出す。じゃあよろし。」

塚	喜	喜	塚女	塚女	塚	喜	喜	喜	○	喜	○	
田	り	田	田	性	田	田	田	和	同	田	同	に
ー	体	ー	ー	ス	ー	ー	ー	雄	・	て	・	的
う	調	あ	戸	焦	わ	お	タ	は	キ	っ	静	俺
ら	ー	！	惑	っ	か	い	ッ	一	体	ろ	人	は
あ	そ	、	っ	て	り	お	フ	さ	は	。か	家	何
！	う	何	て	辺	まい	2	！	ど	、	もし	事	を
ー	い	か	い	り	せ	。ー	？	と	！	、	を	考
	え	気	る	を	ん	何	今	喜	運	こ	し	え
	ば	づ	喜	見	。が	か	ー	田	の	死	こ	て
	石	い	田	る	気	あ	ら	が	目	ん	か	い
	垣	た	。塚	づ	っ	で	ん	タ	い	だ	ら	る
	さ	よ	。田	いた	は	さ	が	ッ	で	は	が	司
	ん	う	。ら	だ	す	が	倒	ま	な	こ	の	。舞
	、	に	倒	よ	が	に	し	っ	ら	の	。舞	。舞
	楽	立	れ	に	に	に	ま	と	に	の	。舞	。舞
	屋	ち	て	：	：	：	っ	石	翻	の	。舞	。舞
	で	上	て	：	：	：	て	音	弄	恋	。舞	。舞
	あ	が	て	：	：	：	る	垣	る	人	。舞	。舞
	ま	り	ー	：	：	：	が	に	れ	が	の	面
	、	、	ー	ー	ー	ー	倒	喜	る	生	白	の
							れ	る	る	き	白	終
							て	る	る	白	白	せ
												て

塚 塚喜 塚喜 塚 ○ 奈 花 奈 奈 ○
 う田 か出メ田田とたどおっお田田ろど田 同
 と ー らししー ーす挙愛前て前 ー ー！う ー ・
 バた音気てジといる句すはきはそあ ーす違喜演舞
 レだ声持やすにや°最る昔たやうあ んえ田技台
 る声スちるるかあイ後司のんっじ： だよ！軍合下手
 かは夕でかこく：メは咲愛だとのな ー！お服わ袖
 ら石ッ喋らとあ：し無傷取し思く そ前（にせて夜）
 な垣フれ安だと ージ理傷取し思く そ前（にせて夜）
 ーにが！心けの ーで心つけ戻しでお ーな石替える
 寄喜 ーし考分 き中けそ戦戦前 ーの垣に寄せる
 せ田 ろえ、ろキ かししう争場か身 ー出に寄せる
 ろに °ろキ ？てまとうす精らで ーわよ°真
 よマ ア°セラ ー緒°思ばを走い ーけうと子°
 ?イ ドセラ ーに思ばを走い ーねとえし°
 あク リリク ーに思ばを走い ーねとえし°
 んを ブフタ ーに思ばを走い ーねとえし°
 まっ ーはー ーに思ばを走い ーねとえし°
 りけ い袖を ーに思ばを走い ーねとえし°
 違る。 いでイ ーに思ばを走い ーねとえし°

	聡		喜兵		○		真		真		○		奈		○																						
	てのN		田士		へ		依		丨依		同		々		同																						
	き不		た		劇		子		ン子		・		一		・																						
照	銃	た	戦	流	聡	い	喜	撃	走	ち	全	伏	喜	幕	ブ	中	複	真		悩	な	一	考	舞	気	困	隣	と	気	隣	席	前	奈	観	戸		
明	声	の	議	場	の	て	田	た	る	兵	身	せ	田	が	上	と	中	雑	依	大	む	ん	喜	え	台	に	惑	の	い	の	が	の	々	客	惑		
が	の	か	も	は	る	ナ	は	れ	喜	士	全	て	と	何	り	と	劇	な	子	丈	表	だ	田	込	手	に	せ	し	初	う	せ	席	空	列	が	い	
暗	音	°	な	壮	°	レ	り	倒	た	う	！	°	か	、	の	舞	表	情	喜	°	の	ら	ん	様	舞	台	を	な	老	か	ず	の	い	ま	劇	な	
く	が	た	い	絶	シ	°	の	れ	ち	お	！	°	の	銃	、	の	で	情	喜	°	の	ら	ん	様	台	を	な	誰	う	ど	ガ	初	て	で	場	（	
な	止	だ	世	だ	シ	°	兵	る	兵	士	！	°	兵	士	と	の	真	依	な	ん	と	°	！	や	子	を	見	奈	話	う	ム	老	い	歩	内	）	ら
り	む	が	界	っ	ン	°	士	兵	士	！	°	士	と	が	、	依	優	し	か	な	°	！	！	く	で	見	奈	話	う	話	み	怪	の	に	、	っ	へ
喜	°	し	俺	°	ン	°	合	°	°	°	°	が	爆	鳴	を	子	を	く	な	°	！	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏
田	°	や	は	い	が	°	わ	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
に	°	ら	何	っ	が	°	せ	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
ス	°	に	の	死	と	°	る	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
ポ	°	戦	た	ん	し	°	よ	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
ッ	°	い	め	で	て	°	う	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
ト	°	続	に	も	舞	°	に	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
ライ	°	け	生	な	台	°	動	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
イト	°	た	き	ん	に	°	動	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
。	°	た	き	ん	に	°	動	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	
	°	た	き	ん	に	°	動	°	°	°	°	が	銃	を	を	を	見	く	な	°	！	！	っ	い	る	々	し	話	な	始	そ	気	榎	て	入	裏	

司	○	榎真塚	○	聡	聡	聡	聡	喜	聡	聡
咲	へ	島依田	同	N	つ	が	は	田	N	N
「	劇	「子	・	「	「	「	「	「	「	「
ち	中	ま	舞	暗	そ	ラ	喜	だ	大	そ
よ	劇	あ	舞	転	の	「	「	「	「	「
っ	「	一	上	す	場	取	立	「	「	「
と	「	応	の	る	に	り	ち	「	「	「
聡	・	は	喜	「	倒	と	俺	「	「	「
さん	舞	：	田	込	れ	出	は	「	「	「
飲	上	：	を	む	込	す	は	「	「	「
み	・	「	見	喜	む	り	て	「	「	「
すぎ	司	い	つ	田	喜	着	「	「	「	「
じ	咲	で	め	「	田	いた	「	「	「	「
ゃ	の	す	る	だ	「	んだ	「	「	「	「
な	方	「	真	「	「	「	「	「	「	「
い	を	い	依	「	「	「	「	「	「	「
？	向	い	子	「	「	「	「	「	「	「
「	い	て	と	「	「	「	「	「	「	「
			床	「	「	「	「	「	「	「
			に	「	「	「	「	「	「	「

	花喜花	○		喜司	司		司														
	大岡田替岡	同		田咲	咲		咲														
	事「「わ「	・		「「	「		「														
苦	花	後	い	い	の	喜	大	へ	戸	再	て	田	そ	う	喜	か	司	聡	し	思	長
笑	、岡	ろ	く	く	顔	田	丈	寄	惑	び	転	が	の	と	田	か	咲	！	始	い	台
い	舞	か	喜	喜	に	、	夫	っ	う	腰	ん	床	瞬	振	、	る	°	「	め	出	詞
を	台	ら	田	田	頭	慌	：	て	様	を	で	に	散	、	か	田	を	°	る	し	が
す	に	花	°	°	突	て	？	い	の	強	い	散	ら	ド	ぶ	を	抑	°	た	言	え
る	向	が	ま	ず	き	る	よ	、	司	打	る	ば	ン	る	振	え	よ	う	て	安	堵
喜	か	や	い	い	を	し	う	て	、	痛	が	っ	た	！	払	っ	と	後	机	上	す
田	う	っ	様	に	し	ま	う	°	に	っ	っ	く	い	る	喜	田	°	ろ	の	書	類
°	°	て	舞	舞	ま	う	°	げ	顔	を	上	げ	る	と	司	咲	元	抱	荒	ら	、
	い	て	台	台	う	°	と	と	を	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、	
	頼	来	裏	裏	ま	う	°	と	を	っ	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、
	む	て	へ	へ	ま	う	°	と	を	っ	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、
	ぞ	喜	へ	へ	ま	う	°	と	を	っ	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、
	「	田	へ	へ	ま	う	°	と	を	っ	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、
	を	の	へ	へ	ま	う	°	と	を	っ	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、
	見	肩	へ	へ	ま	う	°	と	を	っ	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、
	せ	を	へ	へ	ま	う	°	と	を	っ	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、
	つ	の	へ	へ	ま	う	°	と	を	っ	く	り	喜	田	の	元	抱	き	こ	ら	、

塚	○	花	男	花	男	花	○	塚	塚	榎	花	榎	喜	塚								
たま	田	岡	に	性	岡	待	性	り	田	脚	田	島	も	が	な	岡	島	喜	ぞ	じ	田	
方	一	言	ス	タ	ン	シ	ス	だ	あ	止	見	こ	僕	俺	い	ま	ち	喜	は	喜	あ	花
向	こ	は	タ	？	タ	？	も	れ	と	め	田	直	す	か	ち	あ	よ	田	い	田	奪	岡
へ	本	？	タ	？	？	？	フ	こ	る	る	近	ぞ	ら	に	め	役	聡	！	少	！	つ	に
エ	か	？	強	？	？	？	タ	か	こ	こ	く	が	も	て	じ	つ	と	張	！	！	て	真
ス	ら	？	フ	？	？	？	タ	ら	れ	に	！	俺	予	た	や	て	°	り	！	！	来	依
カ	の	？	引	？	？	？	タ	起	以	に	！	俺	想	誰	ね	意	大	き	！	！	い	子
レ	の	？	が	？	？	？	タ	こ	降	い	！	俺	想	に	え	地	丈	夫	！	！	よ	を
し	の	？	そ	？	？	？	タ	こ	花	た	！	俺	想	も	か	で	夫	な	！	！	°	渡
ト	の	？	れ	？	？	？	タ	こ	岡	男	！	俺	想	予	°	も	司	な	！	！	ほ	し
し	の	？	を	？	？	？	タ	と	を	性	！	俺	想	想	も	司	な	！	！	！	ら	た
て	の	？	阻	？	？	？	タ	は	こ	ス	！	俺	想	で	か	を	な	！	！	！	く	お
い	の	？	止	？	？	？	タ	ド	っ	タ	！	俺	想	き	し	手	な	！	！	！	お	ね
き	の	？	す	？	？	？	タ	キ	ち	ッ	！	俺	想	な	た	放	な	！	！	！	前	え
：	の	？	る	？	？	？	タ	ユ	へ	フ	！	俺	想	い	ら	し	た	な	！	！	の	ん
「	の	？	°	？	？	？	タ	メ	来	を	！	俺	想	舞	こ	た	た	な	！	！	出	だ
	の	？	も	？	？	？	タ	ン	さ	呼	！	俺	想	台	こ	た	た	な	！	！	番	だ
	の	？	男	？	？	？	タ	タ	せ	び	！	俺	想	か	れ	く	た	な	！	！	だ	？
	の	？		？	？	？	タ	せ			！	俺	想									

	塚		塚		塚		塚		塚		○	
	る書田		は田		優ら田		う合田		と田		〇	
	「だの		聡の		しれの		「いの		思の		〇	
子	と声読刑	る刑	う自和の	るう部	くなく	う部	に声隅司	聡	つ	散	想	す場
の	認「む事	事	分に雄	う事に	な屋抱	な屋	に「に	が	「	ら	〇	る面
司	識そ。は	が	のラ倒	のラ倒	のき	のき	「に	司	「	か	〇	は
咲	さし。の	やっ	懐	懐	しめ	しめ	「が	「	は	つ	〇	稽
。	、和	の	にレ	にレ	る	る	反銃	「	つ	の	〇	古
の	自雄	から	入	入	「	「	動を	「	い	の	〇	場
内	殺の	ラ	れる	れる	司	司	で突	「	に	の	〇	の
容	をラ	ラ	和	和	咲	咲	司	「	無	司	〇	回
を	証	ブレ	雄	雄	然	然	咲	「	理	歩	〇	想
聞	明	タ	に	に	と	と	は	「	心	み	〇	へ
い	す	「	事	事	し	し	「	「	中	を	〇	オ
て	る	「	情	情	く	く	を	「	を	失	〇	ー
感	も	「	聴	聴	抱	抱	殺	「	決	っ	〇	バ
動	の	「	衆	衆	き	き	し	「	意	し	〇	ー
す	と	「	を	を	し	し	て	「	す	ま	〇	ラ
る	な	「	見	見	め	め	し	「	る	う	〇	ッ
様	な	「	し	し	め	め	ま	「	「	う	〇	プ

花女	花岡	花岡	○同	榎島	塚田	榎島	塚田	榎島	塚田	榎島	塚田	○同	塚田
「ス	「	「	・	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
な	な	な	混	は	純	そ	じ	い	い	思	気	島	抱
に	に	に	乱	「	愛	う	や	「	「	わ	は	「	擁
！	！	！	起	「	に	あ	あ	「	「	が	あ	「	し
ど	ど	ど	き	「	は	り	聡	「	「	せ	あ	「	支
う	う	う	？	「	分	ま	が	「	「	ら	ま	「	え
し	し	し	岡	「	か	す	主	「	「	も	ず	「	み
た	た	た	の	「	り	ね	役	「	「	こ	今	「	な
？	？	？	花	「	や	「	、	「	「	ち	の	「	合
「	「	「	岡	「	す	い	和	「	「	と	聡	「	つ
！	！	！	。	「	い	悪	く	「	「	ま	に	「	ら
あ	あ	あ	。	「	悪	役	が	「	「	し	無	「	も
の	の	の	。	「	役	が	恋	「	「	た	そ	「	抱
：	：	：	。	「	が	必	敵	「	「	が	理	「	き
：	：	：	。	「	必	要	か	「	「	し	心	「	合
「	「	「	。	「	要	だ	か	「	「	っ	中	「	う
			。	「	だ	よ	か	「	「	た	を	「	司
			。	「	よ		敵	「	「	が	す	「	咲
			。	「			か	「	「	、	の	「	と
			。	「			？	「	「	あ	裏	「	和
			。	「			ね	「	「	ま	は	「	雄
			。	「			。	「	「	り	戸	「	。
			。	「			は	「	「	良	惑	「	。
			。	「			つ	「	「	良	惑	「	。
			。	「			つ	「	「	良	惑	「	。

○		喜	○	○	喜	司喜司喜		司喜司	○			
同	つまろはら田	〓	劇	同	き田	いてく	咲田	の咲田裏	劇			
・	いせん全で	誰	中	・	だ	つるれ	〓	〓	〓	喜	司	
客	感てん自力す	よ	劇	舞	か	てのる	何	何	喜	司	真	
席	動しまでの	せ	〓	台	田	〓	雄	秘	田	喜	依	
(うな、せ	な	同	上	の	な	は	密	〓	田	子	
夜	るらし	が	・	手	で	の	？	に	〓	の	、	
)	司、僕	が	舞	袖	す	に	か	〓	〓	も	花	
	°が防	の	台	(に	何	理	緒	〓	〓	岡	
	ぎま	付	上	夜	〓	で	由	にな	〓	〓	の	
	た	う	・)	僕	一	が	あ	〓	〓	顔	
	い	幸	司		が	緒	あ	の	〓	〓	を	
	ん	せ	咲		あ	にな	ら	だ	〓	〓	見	
	で	が	の		な	ら	っ	明	〓	〓	つ	
	すが	あ	家		た	の	な	る	〓	〓	め	
	傷	ら	〓		の	こ	い	ま	〓	〓	る	
	〓	も			こ	と	で	ほ	〓	〓	〓	
		僕			を	を	し	っ	〓	〓	〓	
		か			を	好	っ	て	〓	〓	〓	

喜塚	○	奈	○	和司	和司	和司	和司	和司	和司	○
田田	同	々	同	雄咲	雄咲	雄咲	雄咲	雄咲	雄咲	へ劇
「	・	「	・	「	「	「	「	「	「	「
えあ喜落冷舞	舞	奈ほ奈客	客	司聡よ（小咲の経済的						
、と田。着	静	々んとど	舞	へ司聡よ（小咲の経済的						
そ一息	舞	同意	台	は咲、入っ						
うなだ	台	する	（夜	。閉めて						
なで	（夜	よう	）	花岡とら						
すか	）	に	怒	一緒に上						
か？	舞	領	男	面倒						
「	上	く	だ	閉め						
	塚	隣	た	と	と	と	と	と	と	と
	を	の	表	初	初	初	初	初	初	初
	見	初	情	か	か	か	か	か	か	か
	て	老	で	ら	ら	ら	ら	ら	ら	ら
	い	。	、	な	な	な	な	な	な	な
	る			。	。	。	。	。	。	。

○	喜	和						和	喜		和	喜	○	○		和	喜	和		
同	田	い	雄					雄	田	じ	整	ろ	つ	雄	田	へ	劇	中	劇	
・	「	だ	「					「	「	や	理	う	て	「	「	困	惑	す	「	
喜	暗	手	喜	は	ろ	あ	真	ど	つ	喜	つ	こ	ず	わ	惑	て	雄	「	喜	そ
舞	転	袖	田	あ	う	い	依	う	め	田	の	ま	と	た	た	周	前	田	ん	
台	す	に	「	：	°	つ	子	し	る	「	の	ま	と	た	た	の	「	「	な	
下	る	舞	花	「	ま	は	°	い	°	哀	幸	ま	と	た	た	の	気	上	：	
手	る	台	束	帰	た	し	い	い	し	そ	な	と	と	た	°	環	持	手	：	
袖	上	°	を	っ	ら	ば	い	か	分	う	ん	一	い	い	も	境	ち	袖	「	
に	°	た	持	て	く	か	分	か	上	に	だ	緒	て	う	、	変	わ	か	る	
戻	ま	ま	ま	ら	と	会	戸	感	う	様	子	の	見	つ	き	司	変	戸	っ	
っ	ま	ま	ま	ら	と	会	戸	感	う	様	子	の	見	つ	き	司	変	戸	っ	
て	ま	ま	ま	ら	と	会	戸	感	う	様	子	の	見	つ	き	司	変	戸	っ	
く	ま	ま	ま	ら	と	会	戸	感	う	様	子	の	見	つ	き	司	変	戸	っ	
る	ま	ま	ま	ら	と	会	戸	感	う	様	子	の	見	つ	き	司	変	戸	っ	
。	ま	ま	ま	ら	と	会	戸	感	う	様	子	の	見	つ	き	司	変	戸	っ	

	○	塚	榎	塚	榎	塚	榎	塚	○		○	塚	榎	喜	塚	喜	榎	塚						
	同	田	の	島	だ	田	オ	島	田	同	劇	田	は	そ	島	田	た	田	田	は	敵	島	田	
	・	「	戦	「	！	「	「	「	「	・	中	「	結	し	「	「	ら	「	「	盛	の	「	「	
合	戸	指	イ	音						喜	無	中	中	そ	ば	た	探	お	ど	ど	和	い	あ	
わ	惑	示	ン	響						田	音	劇	を	う	れ	聡	だ	し	前	う	う	上	や	の
せ	う	が	カ	ブ						。で	あ	同	押	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
て	よ	何	ム	「						あ	て	・	す	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
、	う	が	を	ス						て	も	舞	。田	こ	こ	咲	も	く	咲	し	し	ま	試	か
に	な	し	「	夜						も	舞	台	を	と	れ	は	な	っ	を	よ	よ	せ	練	な
隣	の	だ	音	響						なく	上	・	舞	だ	し	奇	く	探	ど	し	じ	「	「	「
ア	か	響								さ	ま	道	に	い	な	の	し	こ	に	「	「	「	「	「
シ	分	ス	タ	ツ						ま	よ		い	い	け	い	再	続	に	い	ね	「	「	「
ス	か	タ	ツ	フ						よ	い		続	け	す	ね	果	ん	「	「	「	「	「	「
タ	ら	ッ	な	は						い			け	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
ン	な	フ	い	は						続			す	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
ト	い	は	塚	田						け			「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
と	様	塚	の							て			「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
目	子	田	の							い			「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
を	。の									る			「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「

○	榎塚	女塚	石	○	真	花	真	花真	
同	島田	性田	た垣	同	依	んう岡	こ勝依	こし岡依	
・	「」	ス「	く「	・	子	だあ「	行手に「	れま「子	
よ	塚もあ	タな女	どレ石	舞	花	よが	く二	「かっ	依
う	田うの	ツに性	「こし	舞	扉	「こい	人シ	「たい	子
に	、流野	！フ？	「ヨシ	台	を	「うか	！ナ	「はん	岡
扉	憤	「？	「ヨシ	上	「	と。花	？リ	「俺	に
を	るに	「は	「居	下	鋭	、お	「オ	「が	引
背	よ間	「い	「場	手	い	その	作	「か	っ
に	うが	「探	「は	袖	表	シ俺	「の	「ら	と
し	にも	「し	「話	（	情	ナ婚	「前	「も	張
て	舞	「上	「ね	夜	で	リ約	「で	「の	ら
座	台裏	「手	「え	留	舞	オは	「よ	「気	れ
り	へん	「袖	「？	が	台	は変	「ち	「持	な
開	回	「見	「す	鳴	へ	わ。誰	「も	「よ	が
込	っ！	「と	「け	つ	戻	「が	「考	「え	ら
む	「	「ど	「け	て	っ	「誰	「え	「す	も
ず	「	「	「と	い	て	「が	「え	「す	抵
真	「	「	「と	く	い	「誰	「え	「す	抗
依	「	「	「と	く	く	「が	「え	「す	す
子	「	「	「と	く	く	「が	「え	「す	る
。る	「	「	「と	く	く	「が	「え	「す	真

○同・舞台下手袖（夜）
安心した表情で舞台をみる榎島。

○同・客席（夜）
悲しそうな表情をしている奈々と隣の初老。

○へ劇中劇～同・舞台上・公園
苦しそうな表情の喜田。
少しずつ照明が暗くなっていく。
客席からパラパラと拍手が聞こえてくる。

喜田「ゴホッ！」
我慢できず思わず咳き込む喜田。

司咲「生きてたのね聡さん！」
と司咲。ようなる照明。目が合ってしまった喜田
急に明るくなる。照明。目が合ってしまった喜田
びっくりする。司咲。咳き込む喜田。
我々で思わす咳き込む喜田。
客席から一斉に拍手が沸き起こる。

○同・客席（夜）
隣の初老。上がって拍手をする奈々と
隣の初老。上がって拍手をする奈々と

○同・舞台上
幕が完全に降りて一緒に笑いあう喜田
と真依子。降りて一緒に笑いあう喜田
下手袖から嬉しそうに榎島が出てくる。
上手袖から拍手をしながら塚田が出てくる。
くろく。袖から拍手をしながら塚田が出てくる。
スタツ。次々に舞台上に集まる。
塚田「ザライト・エンディング終了
しまった！笑顔ではしゃぐ喜田と真依子と
スタツ。笑顔ではしゃぐ喜田と真依子と

喜真喜 真 ○ 真喜真 喜 花 奈 花 花 ○
 入田依田 紙依 自 依田依 田 岡 係々 つ岡 岡 劇場
 れ「子「 ? 子 動 子「子 「 「 は「 て「 「 劇場
 た知「えを真「「ベ販 一「「砂喜を真あ気積喜花い奈もい奈「こ無だそ関喜バれ帰車外
 んりい? 見依「「ねン売 へ「「美糖田子:くう、、、終?、、、な視かの係田ンツにかけ荷駐
 でまつ「せる、嬉い座の には味とに、お。とす見ぬ、ふりをして再び荷物を
 すせか私。嬉いつつベン かしミ渡自疲れ すると、真依子が居るこ物に
 よん私に。嬉いつつベン 飲んで?「いた「 飲んか?「みてよ「 居るこ物に
 「よに。渡そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。
 和そうとして僕の服に 嬉そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。
 雄が勝手に僕の服に 嬉そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。
 が勝手に僕の服に 嬉そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。
 勝手に僕の服に 嬉そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。
 手に僕の服に 嬉そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。
 僕の服に 嬉そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。
 服に 嬉そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。
 に 嬉そうに喜田のラブレター 飲んでの二人。 飲んでの二人。 飲んでの二人。

